

神津島海釣り日記（Ⅱ）

高木 惣治 予科10-8

（東松山市）航空12-1



多幸湾にて 高木

今年も神津島の海釣りをやろうと昨年の6名から寺内君を除く5名の参加を確認した。7月13日から5日間のジェット船の往復切符を確保したと川島君から連絡があったのは5月の始め頃だった。行く前に一度と、岡本、田村、鈴木(芳雄)、高木は川島君の事務所に集まり、近くの釣具屋で道具を買い揃え、河豚料理屋で前祝いをした。

7月13日、朝7時半竹芝桟橋に全員集合。ジェット船は定刻8時出航。時速75kmで大島経由、11時40分頃神津島多幸湾に接岸した。何時もは前浜に入港するのに今日は風の状況で多幸湾になったとか。海側には大型貨物船が2艘、内湾には作業船がうなりを上げて作業している。桟橋は荷物と人でごった返し。何時もの釣り場をとられてしまうのではと心配し乍ら民宿の大松の車を見つけ宿についた。早速レンタカーの交渉、3連休の上前浜でビーチボール大会があるというので車は1台もない。仕方なく、地元のぼん友石田君に電話して

懇願、夕方近く返事があり、船長の関君が2日間は車を貸してくれることとなった。その後は宿の車を借りることになり、一安心して釣りの支度に取りかかった。

7月14日、朝食の後、関君が軽バンを届けてくれた。早速、コマセを仕入れ前浜港の桟橋に。余り釣れていない。ところが田村君の針に大きなウマズラハギがかかった。見物人が自分の車からタモアミを持ってきて無事引き上げることができた。余り歓迎されない魚だがまずは大漁。タモは自分の傍に置くもんだと見物人から苦言一言。

午後は多幸湾に。川島君が1kg足らずのイマズミ（ササヨともいう）を釣り上げた。メジナに似て綺麗な魚で引きは十分。まずはめでたし。田村君にはニザダイ（三の字または三ちゃんともいう）がきた。タモで引き上げこれも大漁、2kg近かった。川島君と田村君は魚を持ってそろって写真を撮り、優劣を競ったが田村君の勝ちとなった。



田村と川島 どっちが大きい？

私の針にもシマアジらしい物がかかったが、一発で仕掛けを全部とられて終わり。鈴木君は手のひら大のメジナと赤ペラだけ。岡本君は仕掛けが絡んで釣りにならず終わり。

夕方皆で島の温泉に行く。海岸近くの露

天温泉の高台にある見晴らしの良い小温泉は年頃の男女のペアで満員の状態。温泉に隣接する保養センターの風呂に入り汗を流して疲れをとる。

7月15日、朝から多幸湾へ。あたりは殆どなし。鈴木君がイスズミを2~3匹つり上げたが全部海に返した。田村君にもイスズミがきたようだが見物人にメジナだといわれ大事そうに持って帰った。昼は前浜の村営レストランへ、焼き魚や刺身の定食に生ビールを付けて島での初めての会食ができた。

夕方、前浜へ、皆突端に陣取った。島の男がカンパチをあげていた。私も生き餌でカンパチをとろうとムロアジを取り、何回か流したがうまく行かずサビキに替えた。皆、ムロアジを何匹かあげていた。そのうち岡本君に大きなビール瓶程のサバがかかった。川島君が糸をたぐり寄せ無事引き上げたが、尾に糸が巻き付き針が外せない。岡本君が必死になって針を外そうとしたがサバの一撃に合い、指に針が突き刺さり、針が抜けなくなった。地元の人が親切に病院に連絡してくれて、車で病院に向かって手術して針を外す。

7月16日。5時出発多幸湾へ。海は透き通ってタカベが群れをなして泳いでいる。私も一向に釣れない。昔から見える魚は釣れないと云うが、中には幾つか落ちこぼれがいるもので、川島君と鈴木君がその落ちこぼれを引っかけた。今回の最高級魚だ。田村君は又ニザダイを釣り上げて満足そう。そのうち鈴木君は、シマアジらしい大物に仕掛けを全部とられて呆然。夕方近くなり帰り道に又、島の温泉に行く。連休も終わり若者は帰ったのか静けさが戻っていた。

宿に帰り気分良く休んでいると、宿の主人と思われる男が突然明日は車は貸せないとやってきた。その態度に鈴木君が逆鱗、

10分ほど交渉したが埒があかず、間に入って困ったオカミがレンタカーを紹介してくれて一件落着。

7月17日、6時に多幸湾へ。昨日のタカベを総取りしようと頑張ったが潮目も悪く濁っていて何もとれない。そのうち、鈴木君が大きな草フグを引っかけた。タモで引き上げたが体中トゲで網から外すのが大変。フグは空気を吸ってサッカーボール大に膨れ上がって目を見開いている。フグ提灯だ、時々恨めしそうな声で泣くので不憚りに思い海に返した。

宿に帰ると関君が今朝とれた金目鯛を大きなクーラー2個分持ってきてくれた。鈴木君と田村君が持てるだけ貰って最高級の土産にした。

昼は新しいラーメン屋を釣具屋で教えて貰い出かけたが、超細い道に超急坂、切り返し時に車の鼻をこすってしまった。レンタカー屋に車を返すときに、川島君が店主と交渉、比較的安い値段の修理費を払って決着。

急いで帰り支度をして、15時15分発のジェット船に乗る。利島、大島経由で18時45分竹芝栈橋に接岸した。



民宿で寛ぐ田村、鈴木、岡本
ご馳走は食べきれないほど

今回はレンタカーで苦労したが、天候に恵まれ、漁獲は少なかったが、種類が多く、引きも強く釣りの醍醐味は充分味わったも

のと思う。また、多少トラブルは有ったものの大きな事故もなく、楽しい釣り旅行を満喫できたことを心から感謝申し上げる次第です。